

令和6年度第2回江東エコライフ協議会会議録

1 日 時 令和6年11月18日(月) 午後 2時00分 開会
午後 2時34分 閉会

2 場 所 江東区文化センター6階 第1・2会議室

3 出席者 < >は欠席

- (1) 会 長 長谷川 猛(元東京都環境局理事)
副会長 <市川英治(東京商工会議所江東支部副会長)>
委 員 持川雅憲(区民委員・江東区立小学校PTA連合会会長)
老沼秀子(区民委員・江東区消費者団体連絡協議会代表)
山本夏実(区民公募委員)
<星 恵里子(区民公募委員)>
星野雅央(一般社団法人東京都江東産業連盟課長)
石井正彦(江東区商店街連合会副会長)
星田芳郎(一般社団法人東京都トラック協会深川支部理事)
<浅野利幸(一般社団法人東京都トラック協会城東支部長)>
深萱智子(東京電力パワーグリッド株式会社江東支社地域担当次長)
村口太士(東京ガス株式会社東京東支店課長)
<白井信雄(学校法人武蔵野大学工学部サステナビリティ学科長)>
佐藤 大(株式会社フジクラ経営戦略部門コーポレートコミュニケーション部主査)
<堀 慎太郎(三井住友カード株式会社社会的価値創造推進部長兼経営企画部部长)>
<戸辺清文(東京都地球温暖化防止活動推進センター副センター長)>
山下忠洋(江東区文化コミュニティ財団江東区文化センター次長)
- (2) 幹 事 池田良計(環境清掃部長)
西谷 淳(環境清掃部温暖化対策課長)
佐藤生男(環境清掃部環境保全課長)
小菅賢太郎(環境清掃部清掃リサイクル課長)
渋谷 徹(環境清掃部清掃事務所長)
小越 誠(地域振興部経済課長)

4 議 題

- (1) 委員の変更について
(2) 令和6年度夏休み小学生環境学習会の実施報告

- (3) 令和6年度カーボンマイナスこどもアクションの実態報告
- (4) 令和6年度江東区環境検定について

5 提出資料等

机上配付資料

- 資料1 江東エコライフ協議会の委員の変更について
- 資料2 令和6年度夏休み小学生環境学習会の実施報告
- 資料3 令和6年度カーボンマイナスこどもアクションの実施報告
- 資料4 令和6年度江東区環境検定について
- 参考1 江東エコライフ協議会設置要綱
- 参考2 江東エコライフ協議会運営に関する取り決め

1〇池田部長 それでは、定刻になりましたので、ただいまから令和6年度の第2回江東エコライフ協議会を開会したいと存じます。

私は、環境清掃部長の池田と申します。よろしくお願いいたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しいところ、ご出席いただき誠にありがとうございます。秋が深まり、朝晩はまだ寒いですが、過ごしやすい天気となり、そのときに併せて開催させていただくということで、非常にありがたいと思っているところでございます。

また、先日の11月6日に開催いたしました、カーボンマイナスこどもアクションの表彰式及び講演会に御出席いただきました委員の皆様につきましても、この場をお借りいたしまして、御礼申し上げます。ありがとうございます。

後ほど、その件につきまして、事務局のほうから実施内容についての御報告をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

では、恐れ入りますが、ここからは着座にて進めさせていただきます。

それでは初めに、温暖化対策課長の西谷から、委員の出欠状況について御報告いたします。

2〇西谷課長 本日は、市川副会長、星委員、浅野委員、白井委員、堀委員、戸辺委員から御欠席の連絡をいただいております。このため、本日、1人遅れていらっしゃいますが、11名の出席予定でございます。

なお、本日の会議につきまして、1名の方から傍聴したい旨の申出がございました。これより傍聴者の方に御入室をいただきますのでよろしくお願いいたします。

報告は以上でございます。

(傍聴人 入室)

3〇池田部長 それでは、これより議事に入りたいと存じます。

長谷川会長、進行のほうをよろしくお願いいたします。

4〇長谷川会長 長谷川でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の進行をお手元の次第に沿って進めてまいります。資料に不足等がございましたらお知らせください。よろしいでしょうか。

それでは、初めに議題の1「委員の変更について」でございます。変更のあった委員におかれましては、委嘱状を席上に配付させていただきましたので、よろしくお願いいたします。

新たに就任されました委員を御紹介させていただきます。なお、お名前を呼ばれましたらその場にてお立ちいただき、御所属とお名前をお伝えいただけたらと思います。

それでは、村口太士委員、よろしくお願いいたします。

5〇村口委員 皆さん、こんにちは。御紹介いただきました東京ガス東京東支店、村口と申します。10月1日付で、前任の大野木に代わりまして着任いたしました。今後、

よろしくお願ひいたします。

6〇長谷川会長 どうもありがとうございます。

続きまして、佐藤大委員、お願ひいたします。

7〇佐藤委員 皆さん、こんにちは。株式会社フジクラコーポレートコミュニケーション部の佐藤と申します。今後ともよろしくお願ひいたします。

8〇長谷川会長 ありがとうございます。

お二方におかれましては、これからよろしくお願ひいたします。

続きまして、議題の2「令和6年度夏休み小学生環境学習会の実施報告」について、事務局から説明願ひます。

9〇西谷課長 それでは、お手元の資料2を御覧願ひます。

まず、1、開催概要についてでございます。日時は、夏休み期間中の8月6日火曜日午前8時20分から正午まで実施いたしました。参加者数は、申込み29組58人から抽選で15組30人といたしました。前日にキャンセルがあった結果、14組28人の参加となっております。学習テーマにつきましては、「木とのふれあいを通して環境について学ぶ」とし、場所は東京木材市場及びフジクラ木場千年の森で、移動は大型バスで行いました。

次に、2の当日の様子を御覧ください。東京木材市場では、「木が生まれてみんなのもとへ」というタイトルのDVD鑑賞の後、①の写真のように木の踏み台を製作し、②の写真のように市場見学を行いました。また、フジクラ木場千年の森では、2段目の①や②の写真のように、ビオガーデンの説明を伺い、見学をいたしました。

次に、3の参加者の声では、学習会参加者のアンケートから抜粋して御紹介をさせていただきます。木材の種類や匂いを体験できてよかった、杉の木に対しての考え方が変わった、近くに住んでいて初めてこういう場所があると知りました、カワセミの巣を見ることができてうれしかったとの声もいただき、今回も好評でございました。

今後とも、委員の方々の御協力を賜りながら環境学習会を実施していきたいと思っております。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

説明は以上でございます。

10〇長谷川会長 ありがとうございます。

ただいま、令和6年度夏休み小学生環境学習会の実施報告がありましたが、これについて御意見、御質問等ございますでしょうか。

では、私から1点、見学先は例年と同様でしょうか。

11〇西谷課長 今回の場所については、昨年の夏休みと同じ場所となっております。

12〇長谷川会長 他にございますでしょうか。山本委員、どうぞ。

13〇山本委員 すみません、バスが53人乗りなので、コロナが5類に移行してい

るところもあるのですが、できたらもうちょっと子供や御家庭の参加があるといいのかなと思いました。

14〇長谷川会長 いかがですか。

15〇西谷課長 ありがとうございます。

私どももかなり多くの方に参加いただきたいという思いもあるのですが、同時に受入先のほうの対応もご相談しながら、もうちょっと増やせるかどうか引き続き調整していきたいと思います。例えば木材市場での椅子の製作等も、かなりの人手を出していただいて対応いただいております。また、フジクラ木場千年の森も、お子さんにけががないように対応しながら見学をしているようなところでございます。

16〇長谷川会長 よろしいですか。

ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

見学場所については、昨年も見学させていただいて、好評ですので、フジクラさんも東京木材市場さんも、ぜひ今後ともご協力をお願いしたいと思いますので、よろしく願いたします。

それでは、議題2については了承いたします。

続きまして、議題の3「令和6年度、カーボンマイナスこどもアクションの実施報告」について、説明願います。

17〇西谷課長 それでは、資料3を御覧願います。

まず、1、取組状況ですが、6月の環境月間に併せ、区立小学校及び義務教育学校の5、6年生がカーボンマイナスこどもアクションに参加をし、家庭での二酸化炭素の削減に1か月間取り組んでいただきました。今年度は全46校が参加をし、対象者8,303人中8,034人の児童達が取り組み、その結果、1か月間で総量185トン、1人当たり平均23キログラムの二酸化炭素の削減となりました。また、希望のあった3校では、東京ガス株式会社様との協働で、「地球温暖化と再生可能エネルギー」をテーマとした出前授業を実施してございます。

次に、2、経過でございますが、4月に全校に参加を依頼から始まりまして、6月に各児童が毎日の取組を記録シートへ入力し、7月に回収、結果を集計し、9月に表彰校を決定、11月に江東区文化センターで表彰式及び講演会を実施いたしました。表彰校、発表校に合わせて330人を超える参加をいただきました。

次に、3、表彰校では、最優秀賞が4年連続で毛利小学校となっております。また、優秀賞が水神小学校、第一大島小学校、第六砂町小学校及び東川小学校の4校、入賞が越中島小学校、亀高小学校、東雲小学校及び豊洲小学校の4校でございました。

次に、資料の2ページをお願いいたします。4の表彰式、環境発表会及び講演会は、11月6日水曜日、13時15分から15時25分に江東区文化センター大ホールで実施いたしました。最優秀賞の毛利小学校からは5、6年生の児童が、優秀賞の水神小学校は5年生、第六砂町小学校は6年生、第一大島小学校は6年生、東川小学校は6年生、また、

各校引率の先生が出席を賜りました。表彰式では、最優秀賞及び優秀賞受賞校の代表児童に木製の表彰状、木のたて及び副賞を贈呈いたしました。

次の環境発表会は、今回からの新たな取組みとして、代表校の第四砂町小学校、第三大島小学校及び毛利小学校の各校の各2グループが、パワーポイントを使い環境に関する取組を発表いたしました。

講演会では、講師として、朝の情報番組でお天気コーナーを担当している気象予報士のくぼてんき氏を招き、「みんなで環境について考えよう！」をテーマに行いました。講演会では、子供たちも熱心に話を聞き、講演中、くぼさんがステージを下りて客席の子供たちに質問すると、多くの児童が手を挙げるなど答え、大変盛況に行われたところでございます。また、この模様は、全区立小学校及び義務教育学校限定でYouTubeで同時配信し、出席校以外でも同時刻で視聴可能としております。

中段にある写真は、表彰式での最優秀賞と優秀賞受賞校の代表児童と区長、議長、教育長、長谷川会長との集合写真でございます。

次に、5の参加賞は、参加児童全員にヒノキ万年カレンダーを来年の1月に配布いたします。

今後も、本事業を通じまして、本区の小学生、そして、子供から御家族にもお伝えいただき、各家庭における環境に関する知識と行動の定着を図ってまいります。

説明は以上でございます。

18〇長谷川会長 ただいまカーボンマイナスこどもアクションの実施報告を兼ねた表彰式の状況をお話しされました。これについて、御意見、御質問等ございますでしょうか。

持川委員、どうぞ。

19〇持川委員 持川です。

この表彰された学校について、採点基準というのはどういうふうになっているのか、まず、教えてもらってもいいですか。

20〇長谷川会長 事務局、どうぞ。

21〇西谷課長 ありがとうございます。

採点につきまして、1点目が参加率で、各学校の子供の人数に対して何人参加されたという形で点数化し、1位は100%、あと、何人か参加されていない学校というのは点数が低くなります。2点目が、1人当たりの削減量でございます。この2つを加味しながら、最優秀校、優秀校等を点数化して公表しているところでございます。

22〇持川委員 ありがとうございます。

発表含めてすごい素晴らしい取組だったので、多くの子供たちに関わってもらいたい、参加してもらいたいと思うんですけども、やっぱり学校の規模、人数の多い学校だと、来れない子供たちもいる中で、多分、そういうところだと参加率が下がって表彰の対象にならない等があると思うんですけども、そこまで配慮するのもあれなのかもしれませんけど

も、いろんな学校でもっと表彰されて、この取り組みが定着していくようなふうになったらいいなと思ったんですけども、その辺、工夫とかって考えていますか。

23〇長谷川会長 事務局、どうぞ。

24〇西谷課長 ありがとうございます。

各学校で子供たちが本当に真剣に取り組んでいただいております、これまでは紙だったのですが、昨年度から各児童に配られているタブレットを活用していただいて、毎日、取り組んだ内容についてポチポチ押ししていただくと削減量が出てくるような形です。例えば毎日、学校へ来られていないお子さんでもタブレットはお持ちだと思いますので、そういった入力等も可能でございます。

また、各学校のお子さん、本当に真剣に取り組んでいただいている中で、受賞できなかった学校のお子さんもいろいろな取組をされている中で、今年から、教育長も熱い思いがあり、受賞されなかった学校からも、今回、子供たちが発表という形で、どういうふうに勉強してどう取り組んだかを、今回、発表いただける場を設けたところでございます。

25〇持川委員 最後にもう1点。

発表がとてもすばらしかったので、あれをホームページとかで見れるような形になれば、取り組みとか、もっと広がっていくのかなと思うんですよ。デジタルデトックスとか、そんな話も子供たちがしたので、大人が見てすごく感じる場所があったので、発表する場所をつくってもらえたらと思いますけども、その辺はどうでしょうか。

26〇長谷川会長 事務局、どうぞ。

27〇西谷課長 ありがとうございます。

今回も、教育委員会のほうから各校に発表の場を設けるということで投げかけたところ、この3校から手が上がったということで、やはり現場の先生たちもかなり苦労されているようで、もうちょっと本当は増やせばいいのですが、今後は作っていただいたものについても発表する場が出せるかどうかも含めて、教育委員会と相談したいと思います。

28〇持川委員 ありがとうございます。

29〇長谷川会長 カーボンマイナスこどもアクションの成績のほうはあまりよくなかったかもしれないけど、発表校として参加することができるという、こういう形になるわけですね。

30〇西谷課長 ありがとうございます。

おっしゃるとおりで、受賞校以外の2校から手を挙げていただいて、各2グループずつ御参加いただきました。中には、3人兄弟で、お兄さんが引っ張って、そのおうちでの取り組み等を、区の職員よりもかなり勉強されているような内容の発表をいただいたところでございます。

31〇長谷川会長 どうもありがとうございます。

御兄弟3人でやられたやつは、あれは面白かったですよね。

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

深萱委員、どうぞ。

320深萱委員 すみません、東京電力の深萱です。

私も表彰式に今年、参加させていただきましたが、本当に小学生のお子様たちが、大人よりというか、私よりも勉強しているなどすごく感心いたしました。

一つ質問ですが、参加賞がヒノキ万年カレンダー配布ということですが、こちらは参加された方全員にお配りされるのでしょうか。それとも、学校で一つなののでしょうか。

330西谷課長 ありがとうございます。

参加いただいた児童全員に、年明け、学校宛にお送りして、そこから配っていただく形になります。

340深萱委員 ありがとうございます。

見ていて、私も欲しいな、いいなと思ったので、学校に一つだとちょっと寂しいなと思ったので、皆さんに配っていただけるということで安心いたしました。ありがとうございます。

350長谷川会長 ほかに御意見、御質問ございますでしょうか。

山本委員、どうぞ。

360山本委員 山本です。

私、当日が都合がつかなかったのが拝見していないんですけれども、皆様から子供たちがすばらしかったとか、私もパワポで資料を作るのって結構面倒だなと思ってしまうところなんですけれども、小学生が作るというか、先生が手伝っていたんでしょうけど、作ったものってどんなものなんだろうってちょっと見てみたいなと思うところなんですけれども、アーカイブ配信は無理でしょうか。

370西谷課長 ありがとうございます。

こちら、教育委員会の中のタブレットで作っているということで、外部へ持ち出しができないという形で、私もデータが欲しくて見てみたんですが、対応が技術的にできないと。ただ、当日の様子は、今週の江東区のケーブルテレビの番組の前半で流れておりますので、全部は内容は分からないんですが、ぜひ御覧いただければと思います。

380長谷川会長 ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

では、これについては了承といたします。来年以降も、ぜひ事務局として頑張ってもらっていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

続きまして、議題の4「令和6年度江東区環境検定について」、説明願います。

どうぞ。

390西谷課長 それでは、資料4を御覧願います。今年で3回目となります江東区環境検定についてでございます。

まず、1、事業内容ですが、対象者は、これまで区内在住・在学・在勤者としておりましたが、今年度からどなたでも受検可能としております。また、受検日程は8月29日午前10時から9月30日、受検方式はパソコンやスマートフォン対応のオンラインです。検

定問題は二肢択一で、60問でございます。6割以上の得点者には認定証を、9割以上の高得点者には表彰状をオンライン発行し、結果発表は既に行っておりまして、今月11月24日まで公表となっております。

次に、2、実施結果ですが、令和6年度の受検者数は、一般が601人、中学生が2,486人で合計3,087人ございました。なお、今年度の区立中学校2年生及び義務教育学校8年生は、授業内で受検をしていただいております。

次に、3、その他ですが、昨年度から作成しております、事前学習したい方のための環境に関する基礎的な知識を学習するためのデジタルテキスト、公式参考書及び対策問題集を、今年度も7月11日からホームページで公開しております。

今後、カーボンマイナスこどもアクション同様、本事業を通じ、中学生をはじめ多くの区民の方に環境に関する知識と行動の定着を図ってまいります。

説明は以上でございます。

400長谷川会長 ありがとうございます。

ただいまの説明について、御意見、御質問ございますでしょうか。

老沼委員、どうぞ。

410老沼委員 その前に、東京ガス株式会社の委員の方、いらしていますよね。この間、消団連のバス1台で見学に行ったんですけど、すごく評判がよかったです。今の検定と違うんですけど、この場を借りてお礼をさせていただきたいと思います。

それと、検定のことなんですけど、ちょっと減っているのも気になるんですけど、私、80になったときに何か挑戦するものはないかなと思って、料理検定を受けたんです。一応は受かったんですけど、表彰状と、ボールペンか何かを送ってきたかなという気がしたんですけど、その受かった表彰状が物すごく、A4の4分の1ぐらいの紙にただ書いてあるだけで、ちょっとがっかりしちゃったのね。

だから、こちらの検定のほうも、合格者には合格認定みたいものを出しますでしょうか。少しはすてきな物を出してくれたんでしょうか。現物を見たことないので、その辺のあたりも少しは考えていただくといいかなと思います。

これが、検定のお話が前回もありましたけど、そのときにちょっと意見を言い忘れちゃったので、今日、言わせていただきました。

420長谷川会長 事務局、いかがでしょうか。

430西谷課長 ありがとうございます。

環境検定、受検はまだいただけていなかったですかね。

440老沼委員 環境検定は、受けなかったです。

450西谷課長 環境検定につきましては、やはり環境の検定になるんで、初年度だけは表彰状を紙で出したんですけども、事業を見直していく中で、オンラインという形で、スマホやパソコンで認定証であったり表彰状をダウンロードしていただく形になっております。それを御自分で印刷いただくか、例えばスマホの画面で見ていただく形になってお

ります。

46〇老沼委員 スマホで見るか印刷したりとかなんですね。

47〇西谷課長 デザインも凝っております、大久保区長名で認定証、表彰状をお出ししているところがございますので、ぜひ来年、認定証、表彰状取っていただければと。

48〇老沼委員 そうですね。でも、落ちたら恥ずかしいかなと思って躊躇しちゃっているんですけど。

49〇西谷課長 二肢択一なんで、割合だけで言っても50%は取れて、60%取ると認定証を取れますので、老沼さんだったら絶対大丈夫だと思います。

50〇老沼委員 料理検定が、やはりパソコンで受検するんですけど、一応、参加賞のボールペンと検定合格したよというのは送ってきたんですね。その送ってきたのがあまりにも、がっかりしちゃったというか、もうちょっといいもの、欲しいというわけじゃないんですけど、一応、受検したので、環境検定のほうはどういうものをお出しするのかという気がしましたので、質問させていただきました。

51〇長谷川会長 ほかに御意見、御質問ございますでしょうか。事務局、どうぞ。

52〇西谷課長 先ほど東京ガスのがすてなーに、視察いただいてどうもありがとうございます。前回、前任の大野木委員にお問合せいただいて、今回から村口委員に代わってまして、ぜひがすてなーに、本当に楽しかったと思いますので、今後も御利用いただければと思います。

53〇老沼委員 ここで勧められてバス見学に行ったんですけど、もう本当に評判がよかったです。1時間たっぷり全館回って、とても天気の良い日に行けて、すごくみんな、喜んでいました。最初、子供対象かなと思って躊躇していたんですけど、大人でもいいですよとおっしゃっていただいて、ありがとうございました。

54〇村口委員 こちらこそありがとうございました。

55〇長谷川会長 東京ガスさんは、環境検定以外に環境週間の行事にもいろいろ企画してもらっているんですね。

56〇村口委員 そうですね。

57〇長谷川会長 どうもありがとうございます。

58〇村口委員 引き続きよろしく願いいたします。

59〇長谷川会長 ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、議題4については御了承といたします。

1点、お聞きしたかったんですが、この検定に合格した一般の方が、合格した場合にはメリットみたいなのはあるんですか。

60〇西谷課長 ありがとうございます。

今、会長からお話しいただいた点については、今現在は特にメリット等、目立ったものはないところでございます。ただ、中学校の先生からお問合せいただいたのは、高校受験のときに内申書に書いてもよいかということで、それはもう各学校の判断なんで、この子

は認定証を取ったよとかというのは書いていただいても構いません。

ただ、さっき老沼委員からもあったように、今回、3回目で、今年はかなり担当の職員も広報に力を入れて周知啓発を行ったんですが、やはりちょっと受検者が下がっていますんで、先ほどのボールペンではないんですけども、何かインセンティブについては、今後、考えていかないと、このままだとちょっと下がってしまうかなというところは懸案材料で考えているところでございます。

610長谷川会長 どうもありがとうございます。

活用するという話と、今言った話と、二重でぜひやっていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、議題4については了承といたします。

以上をもちまして、本日の議題は全て終了いたしました。

最後に、連絡事項がありましたら事務局からお願いいたします。どうぞ。

620西谷課長 委員の皆様におかれましては、各案件につきまして御審議いただき、誠にありがとうございます。

次回の協議会についての御連絡でございます。第3回の江東エコライフ協議会は、来年3月頃の開催を予定しており、日程が決まりましたら改めて御通知さしあげますので、御出席のほどよろしくお願いをいたします。

また、謝礼金の御辞退をしている方以外の委員の方につきましては、先日、資料と併せて請求書をお送りさせていただいております。まだ御提出されていない委員におかれましては、事務局まで御提出のほうをお願いいたします。後日、御提出いただけます委員におかれましては、添付の返信用封筒を御活用ください。

連絡事項は以上でございます。

630長谷川会長 よろしくをお願いいたします。

委員の皆様、お疲れさまでした。これをもちまして、本日の会議を閉会いたします。どうもありがとうございました。

640老沼委員 ちょっといいですか。全体のことは関係ないことなんですけど、リサイクルのごみのことなんですけど、いつもごみ出しのところにネットがかぶせてあって、そして、これは江東区の財産なので勝手に持っていかないでというようなのがありますよね。私もあれについてちょっと不思議だなんて思うのは、例えば燃えないごみのときには特にそうなんですけど、台所用品のフライパン、お鍋や電気製品、そういうのが出ていたりすると、それを目当てに、向こうの人なのかもしれないけど、取りに来るんですね。それで、財産だからって書いてあるんですけど取りに来て持っていく。生ごみのときも、お洋服なんか、リサイクルの、それがまとめてあって出していると、そういうのを持っていかれるんですね。それで、日本に来て、いろいろ生活するには大変なんだろうからと思って、別に私も見て見ぬふりしているというかね。

だけど、例えば生ごみを収集しますでしょう。そうしたら、よく映像で、トラックで集積場へ行って、燃えるごみの中へ捨てていきますよね。そうしたら、そういうもので、使えるものだったら、そういうのを持って行って利用してくれるほうがよっぽどいいわけでしょう。それをどうして区が財産だから持っていかないようにってわざわざネットのところに書いているのがちょっと不思議なんですけど、どういう事情なんでしょうね。こういう機会じゃないとなかなか聞けないので、お聞きしたいんです。

65〇長谷川会長 分かりました。では、番外ですけど、もし分かったらお願いします。

66〇渋谷所長 すみません、清掃事務所長でございます。

集積所にはごみ散乱防止ネットを置いていまして、そこにオレンジ色で確かに資源物になりますので持っていかないでくださいということで、資源物抜き防止の周知啓発のものを標榜をしているというような状況です。

今、お話しいただいたように、燃えないごみを持っていく方がいらっしゃるという情報は、区内全域でもやはりこちらのほうには入っていまして、そもそも瓶、缶、ペットボトルですとかは区の資源物ですというふうに条例でしておりますので、そういったものについては所有が区になると、区に属するということになりますので、それを標示させていただいておりますということです。

燃えないごみのフライパンとかについても、最近、そういうような業者、外国の方いらっしゃるということを知っていますので、こちらのほうでは抜き防止パトロールということで、事業者へ委託、警備業者へ委託をしていまして、そういう情報が入ればこちらのほうで警告をしているというような状況でございます。

67〇長谷川会長 言うことは分かる……。

68〇老沼委員 私、最近、耳がすごく遠くなっちゃったんですけど、ちょっと残っていただいて、聞こえないところが多々ありましたので、個々に質問するようになりたいと思いますのでよろしいですか。すみません。

69〇長谷川会長 では、改めて機会を設けてお願いいたします。

よろしいでしょうか。

委員の皆様、お疲れさまでした。これをもちまして、本日の会議を閉会いたします。どうもありがとうございました。

— 了 —